

名家連ニュース

2026年3月23日(月)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 池山 豊子
TEL/FAX(052)846-5576 NO.1086号

3月度の家族SST講座のご報告

3月21日(土)、午後1時30分より同朋大学博聞館2階研修室において開催されました。初参加のご家族1名を含め9名のご家族が参加されました。吉田みゆき先生から「SST」及び「3つの約束ごと」の説明を受けました。いつもお世話いただいている津端さんが「SST協会」の認定講師試験に見事合格!!(認定講師は全国で120名程、合格者は愛知で4名)の発表にお祝いの拍手!!



◎自己紹介を兼ねて最近の出来事を紹介し合いました

参加者から年金アドバイザーに合格!!、久しぶりのピアノコンサートで感動、GH職員の温かい声かけ、50年ぶりに仲間と逢った、上司の優しい言葉で就労を継続等々、お互いに幸せな気持ちになれるような嬉しいご報告がありました。

また、参加者が心配していることとして、本音の会話が難しい、本人のPCの買換え、母の介護、帰りが遅いことや生活リズムの不安定・昼夜逆転、本人と父親・本人と母親の会話のズレ等々の悩みごと・心配ごとが紹介されました。

殆どのご家族が社会的支援(就労支援、就労継続支援B型、こども若者総合相談センターなど)を利用されている現状も紹介されました。

今回は、2名のご家族の近況と交流内容を中心に報告記事をまとめてみました。

◎Aさん：「母の気持ち」→仕事探しを夏までには何とかしたい。

「本人の気持ち」→今の自分から変わりたい、お金を稼いで母と一緒に暮らしたい。

夏までに出来ること(仕事に就く)→①仕事を探す②応募サイト③面接の練習(くらサポ)④面接に行く→先生はひとつひとつ順を追って整理され“家族が変わっていくと、本人も変わっていく”とアドバイスされました。

※「くらサポ」とは「名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター」の略称です。仕事のこと、家計のこと、家族のことなど暮らしのことでさまざまな悩みを抱える方が気軽に相談できます。センターは名古屋市内に3か所(名駅、金山、大曾根)あります。

◎Bさん：こだわり行動(強迫も)、水を使えず、昼夜逆転の息子への対応→生活を合わせるのが大変→参加者相互で体験を交流し合いました。

次回は4月25日(土)13時30分～15時30分 同朋大学 博聞館2階

SST担当理事：永松、水野(良)、堀場